

西条中央病院

SAIJO CENTRAL HOSPITAL ニュース

2014 October
10
vol.15

発行元/社会医療法人 同心会 西条中央病院 〒793-0027 愛媛県西条市朔日市804番地 TEL 0897-56-0300 FAX 0897-56-0301

眼科のご案内 眼科部長 松岡 美紀子

風がすっかり秋の気配を帯びてまいりました。訳あって地元である西条に帰ろうと決めたのが、昨年4月。早いもので、本年4月に西条中央病院に赴任してからもう半年、日に日に近づく祭りに心躍る私は、やはり西条っ子です。

当院眼科は、10年近く常勤医師が不在であり、非常勤医師による外来診療は行っていたものの、入院手術はすべて近隣医療機関や大学病院へお願いせざるをえませんでした。私の赴任が決まって以降、病院には格段のご配慮をいただき、手術機器、顕微鏡などの必要物品を一新。スタッフ教育も行い、6月から入院手術を開始しております。緑内障や網膜硝子体、専門性の高い涙道手術などはこれまでどおりご紹介となりますが、白内障をはじめ、翼状片や眼瞼の小手術などは当院にて施行することが可能です。

私の赴任と同時に、竹内視能訓練士が採用となりました。外来は一部レイアウトも変更し、これまで以上にスムーズに行き届いた診療ができるよう心がけております。午後も、毎日ではありませんが通常外来診療を行っております。引き続き、愛媛大学との連携もっておりますので、何かありましたらご連絡いただければと思います。

来年度には、現在建設中の新病院棟が完成



し、外来はそちらに移転となります。今後長く、患者さまのみならず地域の医療機関の信頼をいただける眼科を目指して、スタッフ一同頑張っていく所存です。どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。



手術用顕微鏡

白内障・硝子体手術装置



西条中央病院基本理念

西条中央病院は地域社会への奉仕の精神に基づき、生命の尊厳と人間愛を尊重し、親しまれ信頼される医療を提供します。

行動指針

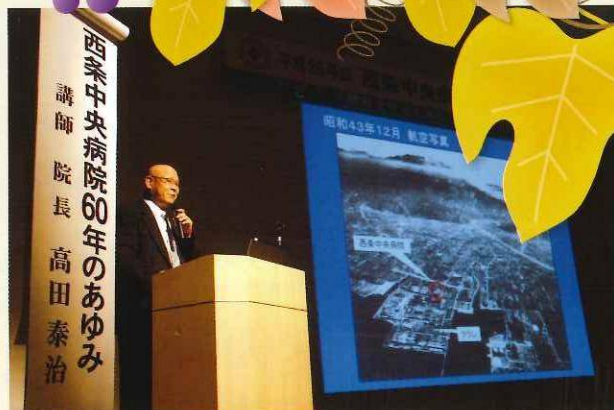
1. 私達は患者さん中心の医療を提供いたします。
2. 私達は常に医療水準の向上に努めます。
3. 私達は思いやりと同心協力の心を大切にします。
4. 私達は患者さんの持つ権利を尊重します。
5. 私達は開かれた医療を進めます。

市民健康教室

平成26年9月13日（土）西条市総合文化会館において、西条中央病院主催の第10回「市民健康教室」を開催いたしました。

今回は創立60周年の記念講演ということもあり、約200名の市民の皆さんのご参加をいただき盛況のうちに幕を閉じました。年々、西条中央病院の恒例行事として当院の患者さんを中心に西条市民の皆さんに広がっている実感がいたします。

今回で10年という節目の年を迎え、今後更に内容を充実させ市民の皆さんの健康意識の高まりに応えることが出来るよう努力していきますので、これからも継続してご参加いただきますようお願い致します。



～基幹型臨床研修病院指定について～

平成26年8月27日（水）厚生労働省の医師臨床研修部会の審議会において承認され、基幹型臨床研修病院の指定をいただきました。全職員が一丸となり年間入院患者数3,000人の目標を達成したことや、協力型臨床研修病院となってから昨年度までの7年間に、愛媛大学医学部附属病院等から44名（今年度は9名の予定）の臨床研修医を受入れてきた実績も評価されたものと思います。現在建設中の新病院棟も来年度には完成し、新しい環境で充実した臨床研修が行えるように、研修管理委員長の小野副院長を中心に医局の指導医の先生方と万全の準備ができています。

平成27年度初期研修プログラムでは、当院での研



修に加えて、愛媛大学附属病院や倉敷中央病院で選択科目を研修でき、研修医の期待に添える内容となっています。充実した研修プログラムや研修環境が整備されますので、西条中央病院の基幹型研修病院としての第1期生を少しでも早くお迎えできるよう一層努力していきます。

臨床研修指定病院とは…

医学部を卒業し医師免許を取得した医師が卒後2年間、経験を積みながら基本的な手技や知識を身につけるための場を提供する病院のこと。厚生労働省の審査を受け、指定を受けた病院のみ研修医を受け入れることができる。



地域包括ケア病棟

西条中央病院では、平成26年10月1日より3病棟（35床）を地域包括ケア病棟として運用することとなりました。地域包括ケア病棟とは、急性期治療が終了して、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰に向けた医療やリハビリ、在宅復帰支援を行う病棟です。主治医、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、在宅復帰支援担当者（医療ソーシャルワーカー）が協力して、退院に向けての準備・計画を進め、患者さんやご家族に安心して退院していただけるようサポートします。



部署紹介 ー看護部ー

当院では、平成25年に緩和ケア認定看護師と糖尿病看護認定看護師が誕生し、活動をしています。

《糖尿病看護認定看護師 大久保美喜》

生活そのものが治療の中心となる糖尿病をもつ方にとって、病気のことは気になるけれど、生活しているとそれどころではないことが多くあります。糖尿病をもつ人が病気と上手く付き合いながら、その人らしく生活することを支援してのが糖尿病看護認定看護師です。また糖尿病にならないよう予防活動する役割もあります。

よりよい人生を共に考え、その人に合った療養を一緒に考えます。

◆こんな活動をしています

*看護相談 糖尿病外来日（月～金曜日）

（インスリン自己注射、自己血糖測定指導、透析予防支援、検査データをみながらの生活調整など）

*糖尿病足病変予防のためのフットケア外来（月曜日 午前中）

*糖尿病教室 *院内スタッフに向けた勉強会開催 *院内の糖尿病ケア推進チーム会の運営

*地域全体の糖尿病看護の質向上を目的とした院外の看護師研修会の企画、運営など



《緩和ケア認定看護師 幾島織香》

緩和ケアとは、病気の診断時から始まるケアです。緩和ケア認定看護師は、がん治療のサポート、身体症状・精神症状の緩和、社会的・スピリチュアルな問題や意思決定支援、ご家族のケアなどを行います。

まだ未熟な認定ですが、スタッフの協力をいただきながら、院内のがん看護の質の向上に努めています。患者さんの身体や心の辛さに寄り添いながら、その人らしい生き方ができるように支援し、療養環境を整え、患者さん自身やご家族の思いを大切にしたいと思っています。

◆こんな活動をしています

*緩和ケアチーム会 月1～2回 *院内スタッフの勉強会 *カウンセリング *がん相談

※何かお困りのことがありましたら、いつでもご相談下さい。※